

分析対象の文字数

分析対象

文字で表現されているすべてのデータを対象とする。
単語群の集合、文節の集合、1センテンス(箇条書き)、文章など。

1文字だけの単語は分析できない。複数の単語群が集まって分析できる。1データの文字数が少なくても、アンケート、メモなども複数のデータが集まれば、分析対象となる。

韻文(短歌、発句など)は、分析基準が異なってくる。ここで表されている分析方法では分析できない。古文は分析対象となるが、現段階では精度は低い。現代文を対象とする。古文は異なる言語として扱う方が適切である。

以下は1文章を分析対象として、1文章のみで分析結果を求める場合。

50字以上100字未満

単語分解と分野分類のみの分析となる。

100字以上400字未満

100字、200字、300字の分析基準があり、それぞれの基準で分析できる。400字以上の分析では35項目の分析値が求められているが、400字未満では、求められない分析がある。

400字以上600字未満

400字の分析基準がある。この基準での分析可能文字数は350字～600字である。適正な分析結果が求められる。400字未満の場合、文章の表現技術によっては求められない分析値がある。

600字以上2000字未満

ここで表されている機能はすべて分析結果として抽出できる。

2000字以上

1テーマで表されている文字数はおよそ2000字以内である。2000字以上であっても分析に問題はないが、テーマが複数存在する確率が高い。この文字数を超える場合は、テーマ単位に分割する必要がある。